

所属：古河電工

ポジション：DF

生年月日：1951年8月6日

出世地：チェコ（当時・チェコスロバキア）

【プロフィール】 チェコスロバキアのトップリーグであるエクストラリーグのHC クラドノでプレーし、優勝5回の実績。チェコスロバキア代表としても、オリンピックは80年のレークプラシッド大会に出場。6試合4アシスト、4ポイントをマーク。世界選手権には5回（75、76、77、78、79年）出場し、44試合4ゴール、3アシスト、7ポイントをマーク。76、77年の2連覇に貢献した（75、78、79年はソ連に次ぐ2位）。76年のカナダカップにも出場し、決勝戦でカナダに敗れ惜しくも2位に終わった。

【レビュー】 落ち着いたプレーをするとともに、ムードメーカーでもあり、チームを盛り上げてくれました。体を張った献身的なプレーヤーで、役割を担った頼もしい存在でもありました。それまでは攻められるとアイシングでホイッスルを取ってリセットすることが多々ありました。彼が来たことで、自分たちがパックをキープしている限りは失点しない。それがベースにあり、パックを意図もなく放り込むなど雑に扱うことはなかったです。相手に攻められても何とかしのいで守り切り、反転攻撃の起点になっていました。体格的に恵まれないプレーヤーが、放り込んでチェックに行っても逆に攻められるだけとっていたので、彼とノバック（82-83シーズンから83-84シーズンまで在席）の影響を受け、2人のやるアイスホッケーをやりたいと思いましたね。84-85シーズンから外国人選手がNGとなり、チェコからコーチを招聘することを会社に頼み、その後のチェコホッケーの継承につながりました。その最初のプレーヤーです。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
82-83	第17回	6	6回戦制	古河電工	6位	28	3	15	18	13
83-84	第18回	6	6回戦制	古河電工	6位	29	7	10	17	13
計						57	10	25	35	26

所属：古河電工

ポジション：FW

生年月日：19年月日

出生地：

【プロフィール】サイモンフレーザ大出身の日系二世。大学卒業後はクラブチームでプレー。古河電工入りは30歳とベテランの域。しかし、強引なチェックとともに正確なパス、ゴール前の位置取り、シュートタイミングなどはカナダ仕込み。コーチ兼任の中心選手として活躍。

【レビュー】体格は日本人とほぼ同じ。パワフルなすごいプレーでチームを引っ張るタイプではなく、頭脳的なプレーヤーでした。戦う姿勢は失わず、精神的にみんなを勇気付けメンタル面で引っ張ってくれました。当時のチームは自分の目と感覚で良いプレーヤーのプレーを盗んで真似をして、自分のプレーに生かして行く形でやらざるを得ない面が少なからずありました。彼はコーチ兼任として献身的にチームに尽くしてくれました。同じセンターとしてポジション取りなど彼のプレーを参考にしました。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
76-77	第11回	6	3回戦制	古河	5位	15	7	2	9	3
77-78	第12回	6	3回戦制	古河電工	5位	15	3	2	5	2
78-79	第13回	6	4回戦制	古河電工	5位	20	3	5	8	5
79-80	第14回	6	3回戦制	古河電工	5位	15	2	2	4	3
計						65	15	11	26	13

所属：古河電工

ポジション：FW

生年月日：1946年11月27日

出生地：チェコ（当時・チェコスロバキア）

【プロフィール】 チェコスロバキアで選手生活をスタートさせ、オーストリア、古河電工、西ドイツでプレー。チェコスロバキアのトップリーグ・エクストラリーグのクラドノ時代には5回のリーグ制覇に貢献した。チェコスロバキア代表としてオリンピックは2回出場し、72年札幌大会では銅メダル、76年インスブルック大会では銀メダルを獲得した。7試合4ゴール、1アシスト、5ポイントをマークした。世界選手権も4回（71、75、76、77年）出場。その内の76、77年には当時、「無敵」と言われたソ連を破り、2連覇を達成した。世界選手権では33試合出場16ゴール、2アシスト、18ポイントをマークしている。

【レビュー】 実は80-81シーズンからチェコスロバキア連盟に外国人選手を要請していて、2シーズンを経て、待ちに待ったプレーヤーが来たわけでした。来日当時、35歳を超えていましたが、あれだけのプレーができるのは信じられませんでした。周りを使うタイプではなく、自分で行くタイプでしたが、自分自身が1試合1ポイント以上をマークするだけでなく、一緒に組んだプレーヤーはポイントを上げていたと思います。鮮明に覚えているプレーが2つあります。センターラインを越えてすぐにバッティングシュートを放ったところ、クロスバーに当たってそのままゴールしたのです。また、彼はライトハンドでしたが、左手で相手DFを抑え、右手一本でゴールラインぎりぎりの角度のないところからGKの肩口にシュートを放ったら、それがそのままゴールイン。世界選手権で無敵ソ連を破ったチェコ代表。世界のトッププレーにびっくりしました。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
82-83	第17回	6	6回戦制	古河電工	6位	30	28	16	44	14
83-84	第18回	6	6回戦制	古河電工	6位	30	16	17	33	13
計						60	44	33	77	27

所属：古河電工

ポジション：FW

生年月日：1948年3月27日

出生地：カナダ（アメリカ国籍）

【プロフィール】 アメリカ・ブラウン大出身。68年のNHLドラフトでセントルイス・ブルースから2巡目指名（全体で16位）を受ける。70-71シーズンにNHLデビューを果たし、セントルイス・ブルース、ニューヨーク・レンジャーズ、アトランタ・フレイムスで79-80シーズンまでプレーし、580試合152ゴール、182アシスト、334ポイントをマーク。また、アメリカ代表として76年のカナダカップ、さらに78、79年の世界選手権に出場し、18試合3ゴール、1アシスト、4ポイントをマーク。ハーベイ・A・ベネットは弟。

【レビュー】 NHLを代表するようなプレーヤーで、アメリカ代表にもなっていましたので、非常に刺激を受けました。彼が練習で頻繁にやっていたのが、シュートをわざとGKのレガードを狙い、そのリバウンドを必ず決めるという練習です。GKに主導権を握らせるのではなく、リバウンドの出所を意識しシュートしていました。また、GKの股下のシュートが絶妙に入っていました。FW陣は彼のプレーを見て盗む努力し、DF陣はリバウンドをたたかせないことを努力していました。チームとして勉強になりましたね。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
80-81	第15回	6	4回戦制	古河電工	6位	20	10	10	20	6
81-82	第16回	6	6回戦制	古河電工	6位	19	11	8	19	6
計						39	21	18	39	12

ハーベイ・A・ベネット

Harvey A BENNETT

所属：古河電工

ポジション：DF

生年月日：1952年8月9日

出生地：アメリカ

【プロフィール】 ボストンカレッジ出身。IHLでのプレーを経て74-75シーズンにNHLデビュー。以後、78-79シーズンまでにピッツバーグ・ペンギンズ、ワシントン・キャピタルズ、フィラデルフィア・フライヤーズ、ミネソタ・ノーススターズ、セントルイス・ブルースでプレーし、NHL通算268試合44ゴール、46アシスト、90ポイントマーク。NHL以外ではAHL、CHLでプレーした。また、アメリカ代表として76年のカナダカップ、78年の世界選手権に出場。世界選手権では8試合、3ゴール、3ポイントをマークした。アイスホッケー以外のテニス、ゴルフ、柔道、ボクシングなどさまざまなスポーツにも精通している。カート・A・ベネットは兄。

【レビュー】 NHLからチーム入りしたため、今までの環境とチームとのギャップがあり過ぎたのか、当初は彼本来の実力がでていなかったように思われます。その中でも自陣ゴール前での攻防、体を張ったプレーなどでチームに闘争心を与え、兄弟の息の合ったプレーでチームに貢献しました。特に外国人特有のシュート力を遺憾なく発揮することは勿論、パワープレー時の敵ゴール前での味方シュートの角度変えで何度となく得点していたのは印象的でした。また、殴り合いは最高に強かったですよ（笑）。

シーズン	回数	チーム数	対戦方式	チーム	順位	GP	G	A	P	反
80-81	第15回	6	4回戦制	古河電工	6位	20	4	5	9	28
81-82	第16回	6	6回戦制	古河電工	6位	30	11	8	19	35
計						50	15	13	28	63